

善称寺ZEN SHOだよりDAYORI

発行元 善称寺
本町五丁目三十二
☎4222-0473

お寺おやつクラブ

お寺おやつクラブとは、お寺にお供えされるお菓子や果物などの「おそなえもの」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、様々な事情により貧困生活を送る母子家庭へ、おやつとして「おすそわけ」する活動です。主宰しているのは彼岸寺という団体です。彼岸寺は宗派を越えて仏教徒や普通の

人が新しい時代の仏教について考え行動している団体です。

善称寺はちいさなお寺ではありますが、檀家さまやゆずり葉の碑のご縁の方などがお参りの際、また、ご法事などを行う際にお菓子や果物などをお供えしてくださいませ。仏さまにお供えした後は私たちがおさがりとしてありがたかったです。食ベキれずにダメにしてしまう場合も少なくありません。彼岸寺さんのこの取り組みは、



お菓子の他にも、畑で採れた野菜やお米、味付け海苔なども喜ばれています。

内容を見てすぐに「これなら私たちも微力ながら協力できるのでは」と思えるものでしたので、事務局に連絡し、活動に参加させていただくことにしたのです。昨年二月に活動を初めて約一年が経ちました。はじめの支援先は、大阪府八尾市に住む、3人の娘さんがいらっしゃるシングルマザーのFさん。一日のうち「ほっ

と一息つける時間がありますように」という気持ちを込めて、おやつやお茶、乾物や野菜などその時々「おさがり」に手紙を添えて、だいたい月に一度のペースでお送りしてきました。

Fさんは毎回、お礼のお葉書やお手紙をくださり、時には娘さんの描いた可愛らしい絵が同封されていたこともありました。昨年末には「よりお寺の所在地に近い支援先を」という事務局側の意向により、和歌山市内のNPO団体に支援先が変更することになったのですが、Fさんからの最後の御葉書には、「いつもやさしい気持ちとおさがりありがとうございました。短い間でしたが、いつも心励まされていきました。善称寺さんのあたたかい思いが、たくさんの方に伝わっていくといいなと思います」という嬉しいお言葉が。この、月に一度のやり取りを通して、温かいご縁のつながりを実感することができて、私たちこそ得難い経験をさせていただき感謝しています。今年に入ってからの新しい支援先は、NPO団体「子どもの支援ネットワーク」です。Fさん。小中学生を中心に、スタッフとボランティアが食事の提供や学習支援を行っています。当寺からの「おさがり」も、活動の一助になっていければ嬉しく思います。先日、地元紙のニュース和歌山でこの活動のことを記事にいただいたところ、お寺にご縁のある方はもとより、「記事を見て」といって、外部の方からもお米や野菜、お菓子などのおすそわけをお届けいただき、ありがとうございます。この紙面を借りて、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。